



休日観光に連れてきてくれた  
ホストファミリーと

法学部			
や	る	気	
応	援	奨	
奨	学	金	

Report

# フランス短期留学で学んだこと 企業勤めを含めて将来に生かす

法学部政治学科3年 <sup>もて</sup>茂木 <sup>り</sup>理香子  
(栃木県立栃木女子高校)

## フランス語力の向上を目指す

今回のフランス留学における第一の目的として、フランス語の語学力の向上がありました。大学に入学して今まで英語のみ勉強してきましたが、第二外国語としてフランス語のインテンシブコースを専攻しました。フランス語の文法や語彙を習得することは大変でしたが、同時に新鮮でした。しかし、私がフランス語を勉強するうえで一番大変だと感じたのは、フランス語の独特なイントネーションでした。フランス語の発音は英語とは異なるものが多い、私にとってはなじみがない発音ばかりで会話の授業ではあまり積極的に発言することができませんでした。このままでは嫌だという気持ちと、今までの文法の授業で勉強してきたことを実際に使ってみたいという気持ちから、このフランス語分野の「やる気応援奨学金」に応募しました。

また、大学の授業でフランスの文化や風習などについて触れることが多く、実際にフランスに行くことで現地の文化に触れてみたいと思うようになりました。それぞれの地域によって異なった風習や人柄に実際に触れることはとても面白いし、普段の私たちが暮らしている日本についても改めて考えさせられる

ことがたくさんあります。ホームステイを選んだ理由として、よりフランス人の普段の生活に密着して彼らの習慣を体験してみたいという思いがありました。私たちとは全く異なった習慣の人々と暮らすことはやはり慣れないことがたくさんありますが、新しい発見や異なったものの考え方に実際に触れることはとても面白いし、異なった場面においての適応力も今までの経験によって、養われたと思います。

## 温かいホストファミリー

私は今回の留学の中で、初日に財布の盗難に遭うという今までで一番ピンチな経験をしました。ヨーロッパは盗難事件がとて多いというのは聞いていたのですが、まさか自らの身に起こるとは思っていなくて油断していたことも反省すべき点だと思います。落ち込んでいた私を元気づけようと、ホストファミリーが励ましてくれました。

ホストファミリーは、皆さんとても親切で温かい人たちで、家で一緒に話す時間はとても楽しかったです。2年間のみのフランス語の勉強で、実際日常的にフランス語を話すことは自分が予想していたよりもはるかに困難なことでした。また、実際のフランス人を目の前にすると、緊張してしまい今ま



学校のツアーで知り合った新しい友達



モンペリエの中心地であるコメディ広場



フランス最大のローマ都市、ニームにて

で勉強してきたような簡単な単語を忘れてしまったり、私のつたない発音のせいで初歩的な会話も伝わらないことがあります、とても悔しくもどかしさを感じました。私のそんな姿を見てくれたのか、ファザーとマザーが夕ご飯の後に1時間くらい時間を割いて一緒にフランス語の勉強を手伝ってくれました。私のホストファミリーは英語が全くしゃべれない家族でした。万が一は英語を使えばいいかな、などと考えていたので最初はとても大変でしたが、フランスに来て英語を使うのはとてももったいないことなので、逆に英語が使えないファミリーに当たってラッキーだったと思います。

また、語学学校でも、ユニークなクラスメートと先生ばかりで、毎日一緒にフランス語を勉強し、分からないところをお互い教え合えることが楽しかったし、みんなフランス語を習得しようという意志を持って学ぶ姿にとても影響を受けました。

### フランス文化を学ぶ

今回の留学で、モンペリエの歴史背景や文化を学ぶために、ホストファミリーやクラスメート、校長にインタビューを行いました。フランスの南部地域と北部地域で異なるイントネーション

や風習があることも発見できました。北部の人々は話すスピードが速く、南部の人々はゆっくり話す点など、それぞれの地域の雰囲気や人柄も表れているようです。

建築様式が南部ではローマ、北部ではゴシックであることなどを教えてもらい、街の建物を改めて見るとより歴史的な建築物が多いことに気付くことができました。モンペリエにはモンペリエ大学という歴史的な大学があり、特に医学部が有名で医薬品関連は他地域に比べて発達していました。校長先生とは日本の文化の話もたくさんしました。

モンペリエの人たちは皆さんアットホームで、トラムに乗っていても突然「こんにちは」とあいさつをされることもよくありました。また、皆さんとてもおしゃべり好きで話し出すとなかなか止まらない人たちでした。自己主張も強いので、消極的な私は少しじろいでした。自らが、自らアピールしないとスルーされると思い、積極的に発言する姿勢が身についたように思います。学校の観光ツアーに参加すると、私の通っていた学校以外の人たちとも話ができました。国も年齢も全く異なる人々と話すことなどめったにできないことだし、興味深い経験でした。

### マナー・タブーの違いを生かす

学校で仲良くなったクラスメートやホストファミリーと今でもSNSでやりとりをしています。時差があるので頻繁にはできませんが、日本にいてもファミリーや友達とやりとりができることはうれしいし、フランス語の会話の学習にも役立つので、これからもフランス語の勉強を続けていきたいと思えるようになりました。

今回の留学を通して、語学学校での勉強をバネに、更にフランス語の勉強に力を入れようと思っています。

また、今回文化や風習についてモンペリエでインタビューをしましたが、日本で良いとされている行為・風習が外国ではタブーとなっていることや、逆に日本でタブー視されているマナーが外国で良いとされる可能性があることを現地できかに感じる事ができました。

この経験は将来企業に勤めた際、外国の方と接する機会がある際に注意すべきことで、実際にフランスに行ってみることができたことだと思います。フランス語のみならず、語学を学ぶことが好きなので、これからの自らの将来において生かしていけたらと考えています。